

令和7年度

網走市における景気動向調査

<第Ⅲ四半期>

報 告 書

網 走 商 工 会 議 所

目 次

第1章 調査要領

1-1	調査時点及び調査対象期間	1
1-2	調査対象	1
1-3	調査方法	1
1-4	回収状況	1

第2章 概況

2-1	全体の動き	2
2-2	業種別の動き	3
1)	建設業	3
2)	製造業	4
3)	卸売業	4
4)	小売業	5
5)	サービス業	5

第3章 業種別設備投資の状況

第4章 業種別経営上の問題点

第5章 業界の景気動向等その他のご意見

第1章 調査要領

1-1. 調査時点及び調査対象期間

- (1) 調査時点：令和7年10月1日（水）～令和7年12月31日（水）
- (2) 調査対象期間：令和7年10月～12月期実施、及び令和8年1月～3月見通し

1-2. 調査対象

網走市に所在する建設業（29件）、製造業（21件）、卸売業（19件）、小売業（38件）、サービス業（43件）の150社を調査対象とした。

1-3. 調査方法

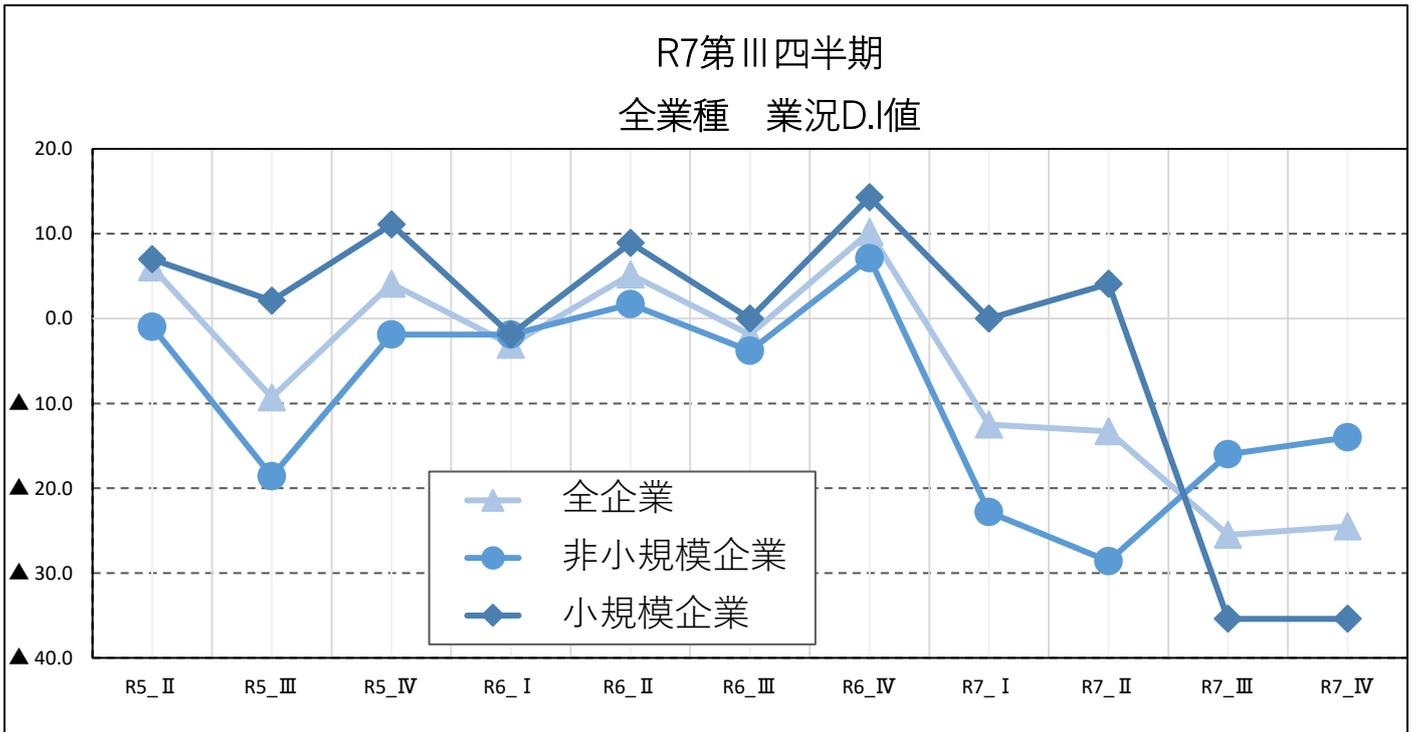
調査対象に案内文と調査票を送付し、FAXもしくは同封の返信用封筒による郵送、インターネット（Google フォーム）による返信にて回答を受ける。

1-4. 回収状況

業種 \ 企業数	対象企業数	回答企業数	回答率
建設業	29件	26件（非小規模企業：13件、小規模企業13件）	89.7%
製造業	21件	11件（非小規模企業：4件、小規模企業7件）	52.4%
卸売業	19件	12件（非小規模企業：8件、小規模企業4件）	63.2%
小売業	38件	24件（非小規模企業：11件、小規模企業13件）	63.2%
サービス業	43件	25件（非小規模企業：14件、小規模企業11件）	58.1%
合計	150件	98件	65.3%

第2章 概況

2-1. 全体の動向



令和7年度第Ⅲ四半期（10月～12月）の業況は、前年同月比で「好転企業」14.3%「悪化企業」39.8%で、「好転企業」から「悪化企業」を差し引いたD.I値は△25.5となり、前回（D.I.値△13.3）に比べ、その差は12.2ポイント悪化傾向となっています。

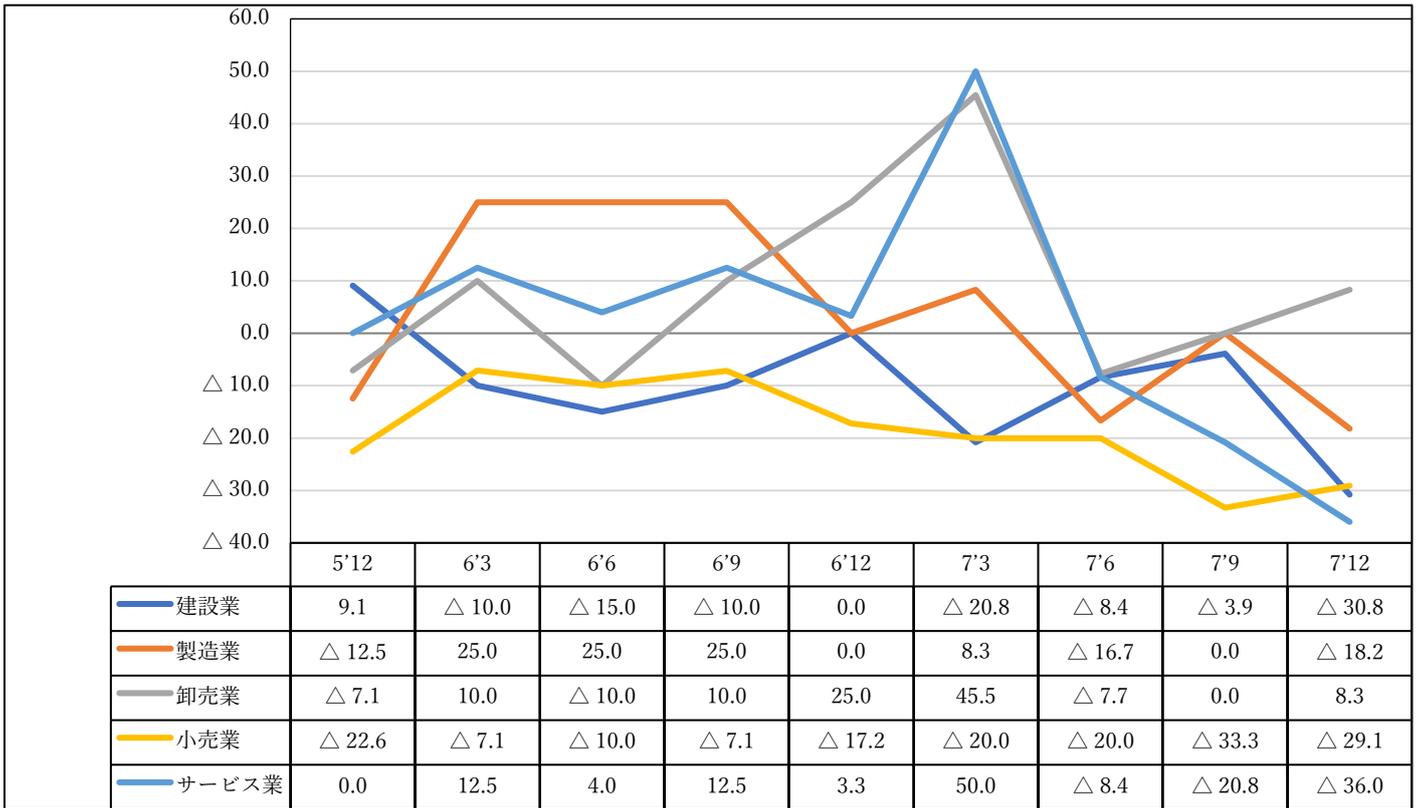
業種別で見た業況は前回比で建設業が26.9ポイント悪化し△30.8、製造業は18.2ポイント悪化し△18.2、卸売業は8.3ポイント好転し8.3、小売業は4.2ポイント好転し△29.1、サービス業は15.2ポイント悪化し△36.0となりましたが、卸売業・小売業において好転傾向となりました。

次期（1月～3月）の業況判断D.I値は△24.5を予想しております。業種別では前期と比較し、建設業は11.6ポイント悪化し△15.4、製造業は54.5ポイント悪化し△54.5、卸売業は22.6ポイント好転し8.3、小売業は25.0ポイント悪化し△37.5、サービス業は13.5ポイント好転し△24.0となっています。

非小規模企業の次期業況見通しは、今期に比べ「好転企業」14.0%、「悪化企業」28.0%となり、「好転企業」から「悪化企業」を差し引いたD.I.値は△14.0となり、今期（D.I.値△16.0）に比べ、その差は2.0ポイント好転傾向となっています。

小規模企業の次期業況見通しは、今期に比べ「好転企業」14.6%、「悪化企業」50.0%となり、「好転企業」から「悪化企業」を差し引いたD.I.値は△35.4となり、今期（D.I.値△35.4）と比べ、±0となっております。

2-2. 業種別の動向



1) 建設業

完成工事高

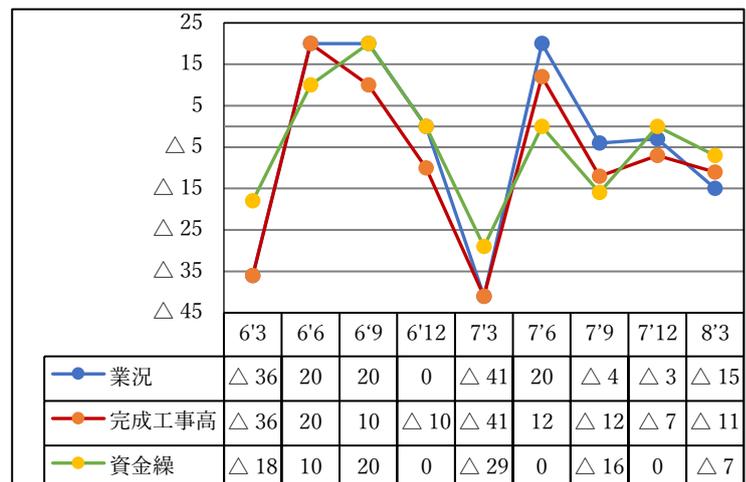
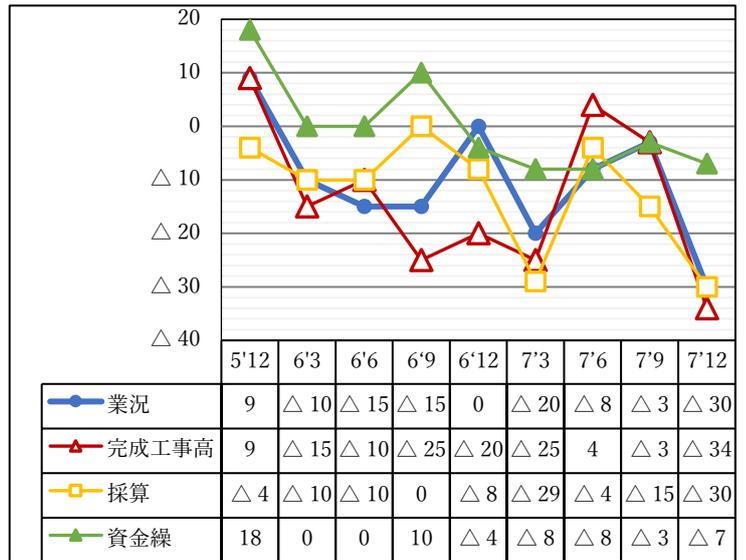
前年比で「好転企業」15.4%、「悪化企業」50.0%、D.I.値△34.6と前年同期（△3.9）に比べ30.7ポイントの悪化傾向を示しました。

採算

前年比で「好転企業」3.8%、「悪化企業」34.6%、D.I.値△30.8と前年同期（△15.4）に比べ15.4ポイントの悪化傾向を示しました。

来期見通し

業況 D.I. 値△15.4（前年同期 D.I. 値△3.8）、完成工事高 D.I. 値△11.6（同△7.7）、資金繰り△7.7（同 0.0）と前年同期に比べ、全ての見通しで悪化傾向を示しました。



2) 製造業

生産高

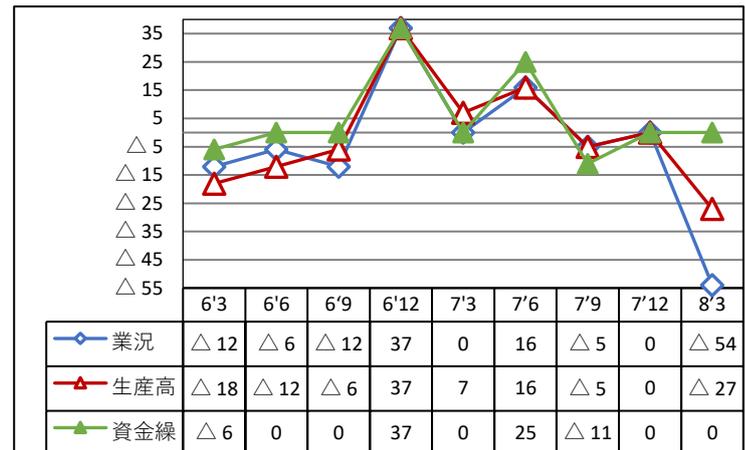
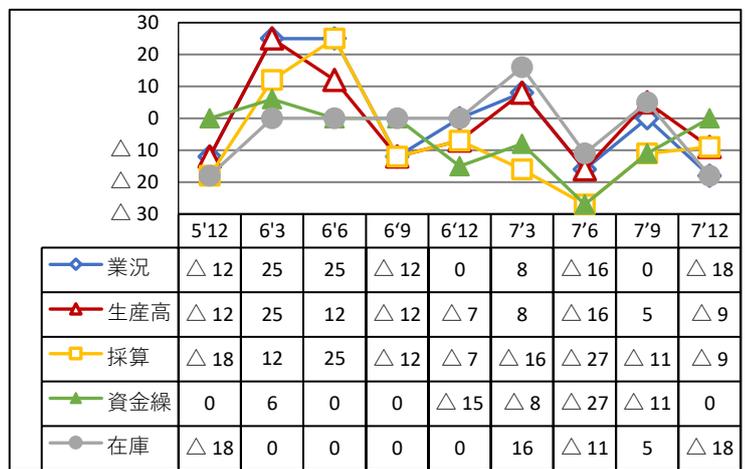
前年比で「好転企業」27.3%、「悪化企業」36.4%、D.I.値△9.1と前年同期(+5.9)に比べ15.0ポイントの悪化傾向を示しました。

採算

前年比で「好転企業」18.2%、「悪化企業」27.3%、D.I.値△9.1と前年同期(△11.7)に比べ2.6ポイントの好転傾向を示しました。

来期見通し

業況 D.I. 値△54.5 (前年同期 D.I. 値 0.0)、生産高 D.I. 値△27.3 (同 0.0)、資金繰り 0.0 (同 0.0) と前年同期に比べ、2つの指標で悪化傾向を示しました。



3) 卸売業

売上高

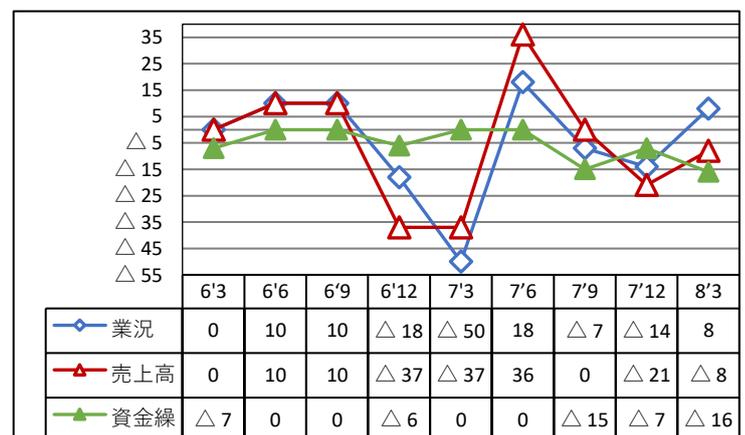
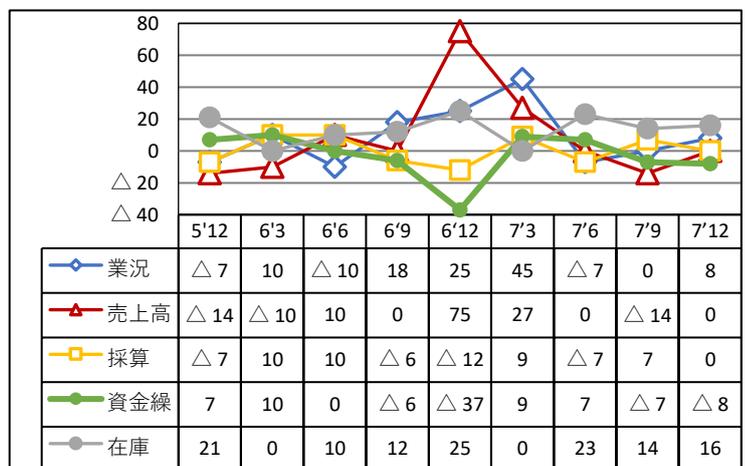
前年比で「好転企業」33.3%、「悪化企業」33.3%、D.I.値 0.0 と前年同期(△14.3)に比べ14.3ポイントの好転傾向を示しました。

採算

前年比で「好転企業」16.7%、「悪化企業」16.7%、D.I.値 0.0 と前年同期(7.2)に比べ7.2ポイントの悪化傾向を示しました。

来期見通し

業況 D.I. 値 8.3 (前年同期 D.I. 値△14.3)、売上高 D.I. 値△8.4 (同△21.5)、資金繰り△16.7 (同△7.2) と前年同期に比べ、2つの指標で好転傾向を示しました。



4) 小 売 業

売 上 高

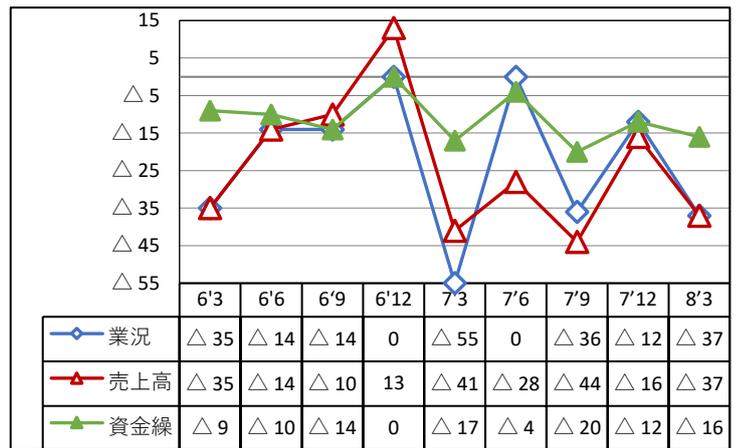
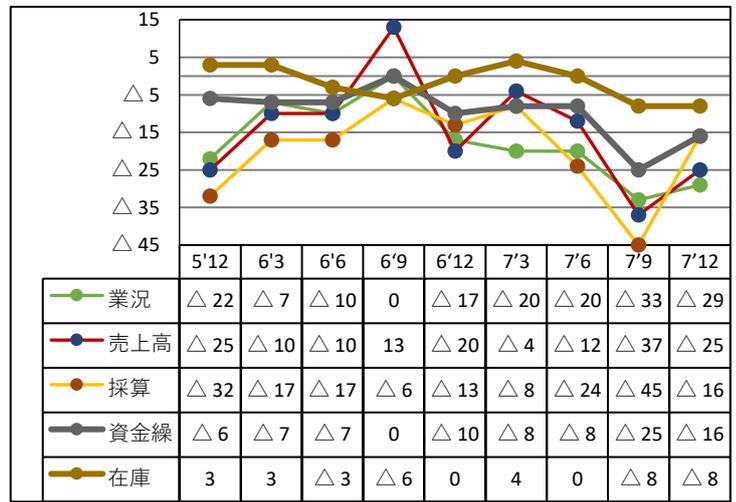
前年比で「好転企業」12.5%、「悪化企業」37.5%、D.I.値△25.0と前年同期（△37.5）に比べ12.5ポイントの好転傾向を示しました。

採 算

前年比で「好転企業」16.7%、「悪化企業」33.3%、D.I.値△16.6と前年同期（△45.8）に比べ29.2ポイントの好転傾向を示しました。

来期見通し

業況 D.I. 値△37.5（前年同期 D.I. 値△12.5）、売上高 D.I. 値△37.5（同△16.7）、資金繰り△16.6（同△12.5）と前年同期に比べ、全ての見通しで悪化傾向を示しました。



5) サービス業

売 上 高

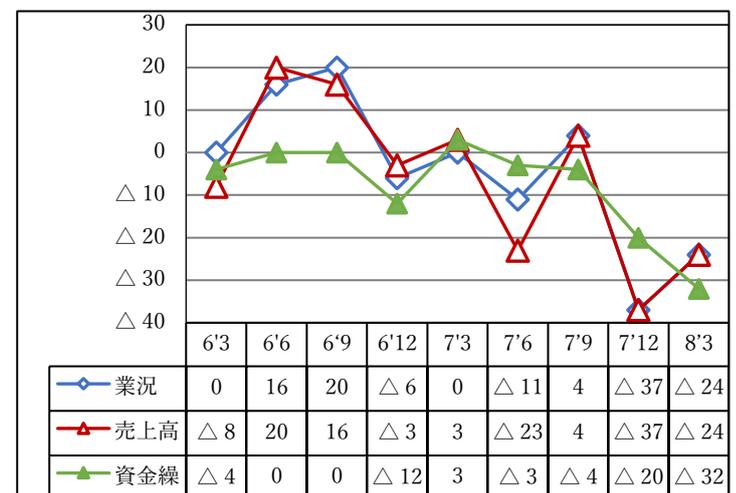
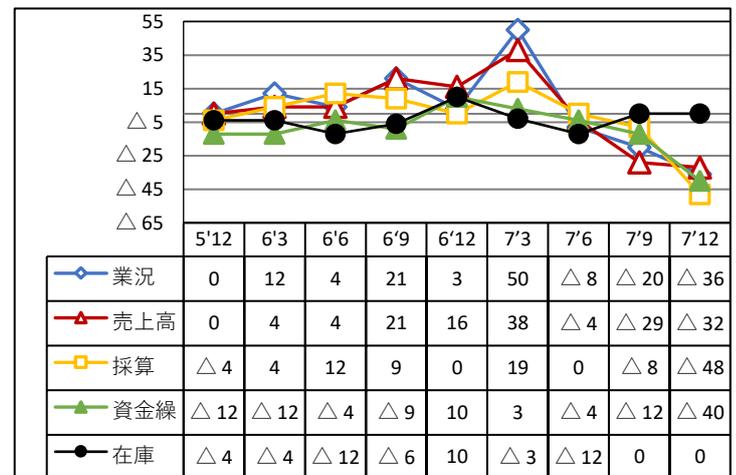
前年比で「好転企業」16.0%、「悪化企業」48.0%、D.I.値△32.0と前年同期（△29.2）に比べ、2.8ポイントの悪化傾向を示しました。

採 算

前年比で「好転企業」12.0%、「悪化企業」60.0%、D.I.値△48.0と前年同期（△8.3）に比べ、39.7ポイントの悪化傾向を示しました。

来期見通し

業況 D.I. 値△24.0（前年同期 D.I. 値△37.5）、売上高 D.I. 値△24.0（同△37.5）、資金繰り△32.0（同△20.8）と前年同期に比べ、2つの指標で好転傾向を示しました。



第3章 業種別設備投資の状況

今期の設備投資の有無と設備内容について調査し、業種別に統計しました。

設備投資の有無は表1のとおり、設備内容は表2のとおりです。

表1 業種別設備投資の動向

	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	全業種
実施した	3件	4件	2件	3件	8件	20件
実施していない	23件	7件	10件	21件	17件	78件
合計	26件	11件	12件	24件	25件	98件

表2 業種別設備投資の内容

	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	全業種
土地	0件	0件	0件	0件	0件	0件
店舗	0件	0件	0件	0件	1件	1件
販売設備	0件	0件	0件	0件	1件	1件
車輛運搬具	2件	2件	0件	2件	2件	8件
付帯設備	0件	1件	1件	0件	4件	6件
OA機器	1件	1件	0件	1件	2件	5件
福利厚生施設	0件	2件	0件	0件	0件	2件
その他	1件	0件	1件	0件	1件	3件
合計	4件	6件	2件	3件	11件	26件

※複数回答あり

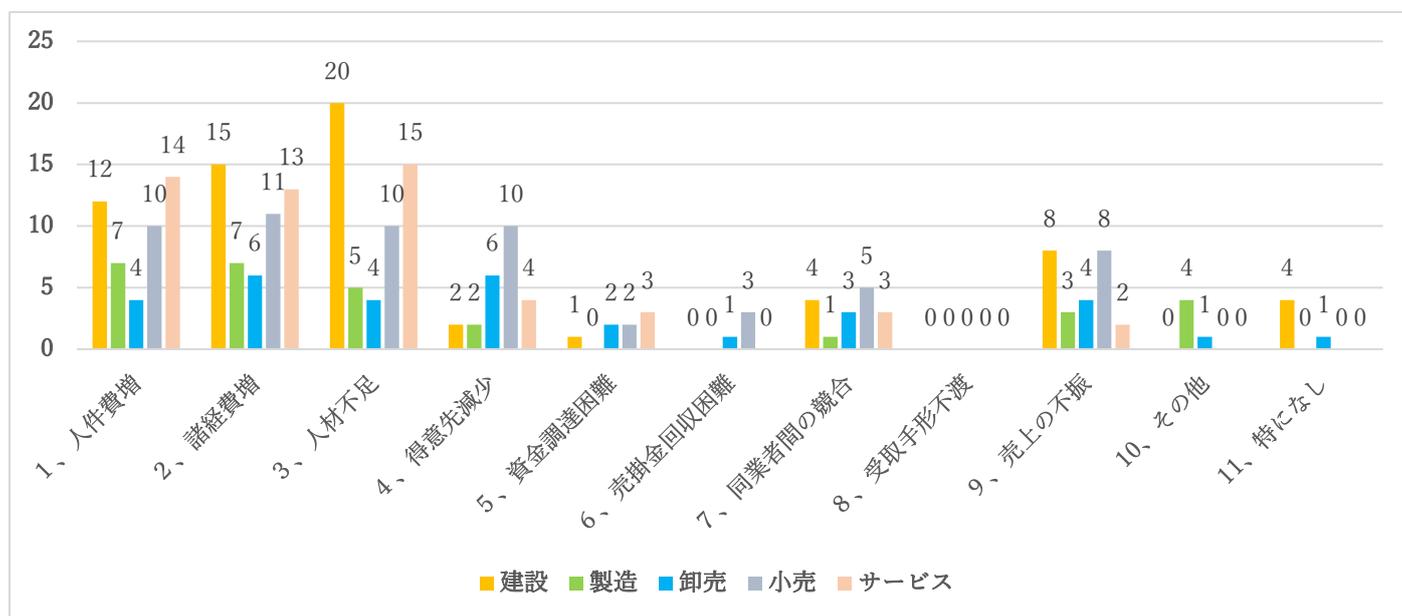
○全業種でみると設備投資を実施したのが20件、実施していないが78件となりました。前回は設備投資を実施したのが27件、実施していないが78件でありました。また、設備内容として最も多かったのは車輛運搬具となっています。前回においても車輛運搬具が多く占めていました。そしてその他の内容としては機械装置、ストーブ、冷凍機がありました。

第4章 業種別 経営上の問題点

表1 業種別上位

	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
建設業	人材不足	諸経費増	人件費増	売上の不振	同業者間の競合 特になし
製造業	人件費増 諸経費増	—	人材不足	その他(原料不足他)	売上の不振
卸売業	諸経費増 得意先減少	—	人件費増 人材不足 売上の不振	—	—
小売業	諸経費増	人件費増 人材不足 得意先減少	—	—	売上の不振
サービス業	人材不足	人件費増	諸経費増	得意先減少	資金調達困難 同業者間の競合
全業種	人材不足	諸経費増	人件費増	売上の不振	得意先減少

グラフ1 業種別件数



※複数回答あり

○全業種で見ると最も多かったのは「人材不足」でした。また、業種別で見ると、「諸経費増」、「人件費増」、「得意先減少」が多く占めておりました。

第5章 業界の景気動向等その他のご意見

○業界の問題点について

【建設業】

- ・若い技術者が集まりません。
- ・職員の不足と高齢化。

【製造業】

- ・用紙、材料の値上げが続いている。
- ・気候変動と商慣行。
- ・資源に対する考え方。

【卸売業】

- ・高年齢化、若い世代への引継ぎ困難。古いしきたり等昭和の流れが断ち切れていない。
- ・仕事上、天候の悪化が売上に関係することは仕方ないが、あまりに悪い天気心配。

【小売業】

- ・物価高騰により値上げが止まらない。
- ・人材不足、物価高、円安。
- ・仕入れ金額の高騰で販売価格の適正が乱れている。
- ・特に地方においての人口減少は今後大きくなっていくことが売上減少につながると思われる。
- ・海外旅行者 40%占める中国の減少は多少響く。SNS ネットによる市場 PR は効果的、今後期待する。

【サービス業】

- ・技術職員の高齢化もあり、人材の確保・技術継承の促進が急務です。
- ・単価競争、ダンピング。
- ・中国政府から日本への渡航禁止命令以降中国からの来館者が減少している。特に12月から1月は減少している。2月の春節も減少するだろう。